

第15回日産学術研究助成募集要項

助成対象研究分野

本年の助成対象は、次に例示する、あるいは類示する分野の基礎研究および応用研究に助成を行います。特に今年には人間と機器との係わりに関する研究を重点テーマとしてとりあげております。私たちの生活の中に機器類はますます入り込んでまいります。しかも機器類の質が変わってきています。人間の豊かな生活を築いて行くには、人間と機器との間に横たわる様々な問題を解決して行かなければなりません。先駆的・独創的で学際的な研究を期待しております。

1. 人間と機器との係わりに関する研究——重点助成テーマ——

1-1 機器の利用面におけるリスクマネジメントに関する研究

1-2 人間の不完全さの機器による補完、特に身障者や老人などの運動・感覚機能の支援に関する研究

1-3 社会的ストレスに対して生体情報の利用等による人間の精神機能を支援するための研究

2. 資源・エネルギーに関する研究

2-1 廃棄物の再資源化と代替資源の開発に関する研究

2-2 新しいソフトエネルギーの開発とその利用

3. 自然環境および都市環境に関する研究

3-1 自然環境の分析と評価並びに保全に関する研究
生物指標の開発、環境変化のモニタリングの方法、持続的開発のための環境保全等の研究

3-2 人間環境、特に都市環境の解析と改善に関する研究

人間—自然系の在り方を総合的に把握、解析し、環境汚染の分析と制御、自然浄化機構等の研究

4. 新しい機能材料の研究

これからの人間社会にとって、いわゆる先端技術の果たす役割は大きい。中でも特殊な機能を持つ材料の役割は重要である。新しい技術の成否が、材料によって左右される場合も少なくない。2、3の例を上げれば、各種熱機関の高効率化に必要な耐熱高強度材料、特殊な機能を持つ電子材料、生体に似た分離機能を持つ膜の材料など、現在用いられている材料に比し、極めて優れているか、あるいは独特な機能を持つ新材料開発のための基礎的な研究を期待する。

5. 生命現象に関する研究

5-1 生命の仕組みの解析など高等生物なかんずく人間のバイオサイエンスに関する基礎的研究とその応用

5-2 最近の分子生物学の発展に照らして、生物の環境に対する遺伝的な適応や遺伝子発現の調節機構等に関

研究助成内容

	一般研究助成		奨励研究助成
	(A)	(B)	
研究の性格	<ul style="list-style-type: none"> ●研究期間が長期にわたる研究学際的グループ研究等 <p>(共同研究に限る)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ●極めて創造性に富む短期的な研究 ●本格的な研究に取り組むための調査・予備研究 <p>(共同研究に限る)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ●若手研究者の萌芽的な個人研究
助成金の総額 (1件当りの助成金額)	約12,000万円 (1,500万円限度)	約2,500万円 (150万円～300万円)	約1,500万円 (50万円～200万円)
採択件数	10件程度	10件程度	15件程度
助成金の支払期間	昭和64年度(64/4～65/3)を助成第1年度とする。 助成期間は2～3年	昭和64年度に交付 助成期間1年*	同左 助成期間1年
助成金の使途	設備費は助成金の60%程度とする	—	—

する研究

助成の対象

一般研究 (A) : 社会的要請は高いが、これまであまり手がけられていない研究で、いくつかの専門領域にまたがる学際的な共同研究を歓迎します。

一般研究 (B) : 比較的短期間に研究の成果が期待できる研究、あるいは学際的で本格的な研究に取り組むための調査および予備的研究に助成します。研究の内容により、研究 (A) への継続助成もあり得ます。

奨励研究 : 若手研究者 (35歳以下) の萌芽的な個人研究に助成するものです。

※同種のテーマで学術研究費または他の財団の研究助成金などに申請している方(共同研究者としても)は、重複申請はできるだけご遠慮下さい。特に理由がある場合は申請書にその状況を明記して下さい。

報告の義務

助成金の受領者には助成期間中、および終了後、研究の経過、研究の成果、および会計内容について当財団に報告していただきます。助成を受けた研究の発表は自由ですが、財団主催により発表をお願いすることがあります。

応募手続

応募は、各学・協会経由(推薦)を必要としますので、推薦書(申請書)を各学・協会長宛に提出願います。申請用紙は当財団に用意してありますので、郵送料240円切手を同封のうえ、ご請求ください。

締切日

学・協会長から当財団への締切日は、昭和63年9月30

日(金)となっております。各学・協会の締切日は、直接ご照会ください。

選考方法

当財団の選考委員会において、厳正に選考のうえ、64年2月開催予定の理事会で、正式に決定いたします。

助成金の内容

助成金は設備・備品費、消耗品費、旅費、謝金、その他に分かれています。

設備・備品費 : 研究に必要な機器(装置)器具、備品等の費用。なお、汎用的な機器類(例えばパーソナルコンピュータ)などはご遠慮ください。

消耗品費 : 研究に必要な事務用品、試験・実験に用いる各種材料、部品、薬品類などの費用。

旅 費 : 研究のために必要な出張費(交通費、宿泊費、雑費)。海外に出張を必要とする場合もこれに含まれます。

謝 金 : 研究のために臨時的に雇った人の費用(試験、実験、観測、採取、記録、整理などを手伝ってもらった人への謝金)。

その他 : 上記以外に必要とされる費用。主なものとしては、会議費、調査資料代、諸雑費など。

次の費用は含まれません。

- 研究室の運営管理に必要な一般管理費用
- 研究成果の発表を目的として行う報告書の刊行、シンポジウム等の開催費用

資料請求・問い合わせ先 : 財団法人日産科学振興財団
研究助成係

〒104 東京都中央区銀座 6-17-2 木挽館

Tel. (03) 543-5597

FAX (03) 543-5598 (Tel. 兼用)